

Suomalainen musiikkimaisema
- Tuomas Turriago vieraana

フィンランドの音楽風景

トゥオマス・トゥリアーゴを迎えて

待望の初来日!ピアニスト・作曲家・指揮者として活躍するトゥオマス・トゥリアーゴが
地元実力派と織りなす北欧の詩情と情熱シベリウスとクラミの大作、
そして自作品を自身のピアノで紡ぐ、北欧音楽の真髄に触れる
魅惑のステージ!



ピアノ・作曲/トゥオマス・トゥリアーゴ Tuomas Turriago



ヴァイオリン/江頭摩耶



ヴィオラ/叶澤尚子



チェロ/アイリス・レゲザ

Program

ジャン・シベリウス Jean Sibelius

ヴァイオリンとピアノのための『5つの小品』 Op.81
Five pieces Op.81

ピアノのための『樹木の組曲』 Op.75
The Trees, Op.75

ウーノ・クラミ Uuno Klami

ピアノ四重奏曲 変ロ短調 Op.4
Piano Quartet b-moll Op.4

トゥオマス・トゥリアーゴ Tuomas Turriago

ピアノのための『彼方より…』(2011年)
Da Lontano...

ピアノのための『憂い』(2017年)
Somber

ヴァイオリンとピアノのための『忘れられたメロディー』(2011年)
Forgotten Melody

ピアノ四重奏曲(2025年新作 名古屋初演)
Piano Quartet

2025 10/2 木

18:30開場 18:45プレトーク 19:00開演

18:45より ピアノ・作曲 トゥオマス・トゥリアーゴによるプレトーク
「フィンランドからみなさまへ」があります。

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

一般 4,500円 学生 2,500円 (全自由席・税込)

助成: スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団

後援: フィンランド大使館、日本・フィンランド新音楽協会
名古屋市立菊里高等学校音楽科同窓会

マネジメント: ♪ クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド: アイ・チケット 0570-00-5310 (アイ・チケットQ)
芸文プレイガイド 052-972-0430

フィンランドの音楽風景 トゥオマス・トゥリアーゴを迎えて



©Ville Hautakangas

トゥオマス・トゥリアーゴ(ピアノ・作曲・指揮)

作曲家、ピアニスト、教育者、編曲家、指揮者であるトゥオマス・トゥリアーゴの、音楽に対する飽くなき情熱と愛情は、楽器・スタイル・ジャンルを問わず、すでに30年以上に渡って彼の活動の原動力となっており、室内楽の共演ピアニストとして非常に人気を誇り、作曲家としても活動している。ソリストとして世界各地の多くのオーケストラと共演を果たしている上に、フィンランド、ヨーロッパ、米国、コロンビア、中東、極東の数多くの音楽祭にも出演してきた。共演者には、マイケル・ザンデルリング、カスティアン弦楽四重奏団、アルトゥ・カタヤ、トゥーリ・タカラ、トゥオマス・カタヤラ、セルゲイ・ナカリャコフ、パーチョ・フローレスなどが名を連ねる。フィンランド現代音楽の熱心なプロモーターでもあり、ピアニストまたは指揮者として、セシリア・ダムストロム、ミンナ・ライノネン、マリア・カリオンパー、ミッコ・ヘイニオ、パーヴォ・ハイネケン、パーヴォ・コルピヤーッコなどの多くの作品を初演した。

委嘱を受けた作品も数多く、その作品リストは現在までに51作品に及び、その作品は Fennica Gehrman によって出版されている。近年、指揮者としても人気を集めており、ヴァーサ市管弦楽団、セイナヨキ市管弦楽団、サン・ミッケリ弦楽合奏団、タンペレ・ロウ、タンペレ室内楽団、タンペレ・フィルハーモニック・ブラスなどを頻繁に指揮している。また、2004年からタンペレ応用科学大学の常任講師を務めており、2019年からはシペリウス・アカデミーの室内楽と初見演奏の教師を務めている。2024年からは、リーヒマキ・サマー・コンサートの芸術監督を務めている。2025年には、第13回シペリウス国際ヴァイオリンコンクールで公式伴奏者を務める。



江頭摩耶(ヴァイオリン)

名古屋市立菊里高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。桑原賞、中村桃子賞を受賞。フィンランド国立シペリウス・アカデミーを最優秀の成績で修了。ラハティ市交響楽団、シペリウス・アカデミー非常勤講師、ボルト・カサダムジカ交響楽団コンサートマスター、愛知県立芸術大学非常勤講師などを務め、ゲストコンサートマスターとしてフィンランド、スウェーデン、南アフリカなど各地のオーケストラに客演。2015年から毎年モザンビークのマップト国際音楽祭に出演し、継続的に現地で指導にも携わっている。2024年にはヴィオラ奏者として南アフリカのステッレンボッシュ音楽祭に出演し、アンドレイ・バラノフ、ダニエル・ローランド各氏らと共演した。現代音楽アンサンブル「音楽クラコ座」、アンサンブル・ファルケに参加。ヴァイオリン・ヴィオラ奏者として多彩に活躍中。



叶澤尚子(ヴィオラ)

福島県いわき市出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。高校在学中にヴィオラに転向。第3回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門第1位。2013年よりサイトウキネンオーケストラに参加するほか、これまでにPMF、東京・春・音楽祭、小澤征爾音楽塾、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀などに参加。カルテットゼーレのメンバーとしてユメニティ直方レジデンスアーティストを務める。また、KOTO QUARTETのメンバーとして2020年からベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲チャクルスをはじめとしたさまざまな公演を行なっている。2025年3月まで名古屋フィルハーモニー交響楽団首席ヴィオラ奏者を務める。現在はヴィオラ奏者として各地のオーケストラなどでゲスト奏者として演奏するほか、室内楽にも積極的に取り組み、後進の指導にもあたっている。



アイリス・レゲヅ(チェロ)

クレーブランド音楽院を経て、ジュリアード音楽院(音楽学士)を卒業。イスラエル・フィルハーモニーオーケストラ、イスラエル・カメラータ・オーケストラ、バンコクシンフォニーオーケストラにソリストとして共演。室内楽で、カーネギーホールでのトリオコンサートに出演する他、マイアミではピンカス・ズーカーマンと弦楽五重奏を共演している。これまでに、ジュピターシンフォニーオーケストラ、サンパウロステートオーケストラ(副首席奏者)、リオデジャネイロステートオーケストラ(副首席奏者)、イスラエルフィルハーモニーオーケストラに在籍。2018年より、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者。



ザコンサートホール 名古屋・伏見・電気文化会館

東山線・鶴舞線「伏見」駅
4番出口より東へ徒歩2分

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目2番5号
TEL 052-204-1133